

倉掛新聞

〈発行所〉
倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛
会長／倉橋一郎

〈編集〉
倉掛自治連合会
倉掛婦人育成会
倉掛少年団第3分団
倉掛消防分団

土砂5トンを搬送

倉掛全域で溝掃除

自治連合会

地区住民が五月二十二日～二十九日に実施した側溝清掃の土砂積み込みが六月五日、自治連合会役員らによって行われた。

「この日は体力勝負…」



土砂が入った大量の土のう袋を積み替えて中身を取り出す役員

四台のトラックを使って回収した土のうをダンプリンに積み替えて袋から取り出す作業は、井原大橋下で午前八時より開始。役員らは、不適切な物が混入して

暗渠清掃も実施

井原分団第3部



消火栓に塗料を塗る団員。写真右 倉掛公園付近の暗渠清掃。写真下

消防団第3部が六月五日、倉掛夏目両地区に点在する約五十ヶ所の消火栓の位置を分かりやすくするためのペイント作業などを実施



雑誌や古新聞などを業者のトラックへ積み込む団員ら＝井原市役所南駐車場



住民協力に感謝

少年団春季資源回収

六十二本の消火器を十年間有効な新型へ切り替えることになり、三年以内の完全実施を目指す。一年目の今年

は期限切れを含む二十本（一本六千五百円）を交換した。

が参加した。午前八時、団員らは村上達也育成会長から「きょうの奉仕作業は資源回収です。四班に分かれて行いますが、クルマが動いているときは絶対、荷台に乗らないよう安全を心がけてください」との説明と注意を聞き、それぞれの担当区域へと向かった。七台のトラックに分乗し

井原市 各地区へ職員派遣

パートナーシップ制度スタート

井原市は協働のまちづくりを推進するため、本年度からパートナーシップ・プロジェクト事業を展開することになった。市内十三地区へ平成二十五年三月末まで担当職員計二十六人を推進員として派遣する。この事業は、まちづくり協議会の組織化、リーダー養成、パートナーシップ推進員の派遣、市民と市長の対話、協働意識の醸成、市職員の意識改革が主な柱。推進員は市民と協力して地域の問題解決を図り、行政との連絡調整等に当たる。

事業所自治会費 全事業所が協力

倉掛自治連合会は五月十三日午後、事業主が倉掛地内へ居住していない店舗や事務所などを回り、自治会費の拠出を要請。本年度も全事業所の協力を得た。同連合会の谷和政会計は「今年が集金に何うことを前もって文書でお知らせした。ご協力に感謝します」と話していた。

「会員を募集します」

つどえくる

井原市市民活動センターが「つどえくるクラブ」の会員を募集している。施設を預かるNPO関係者によると「入会者はつどえくるの提供する様々なサービスを受けることが可

能。ボランティア活動に関心がある、パソコンを始めたいという方にはピタリ。協働のまちづくり勉強会や講演会の企画運営にも取り組んでいただけのネットワーキングコミュニティです」と呼びかけている。

た団員と育成会員は、家々から出された古新聞や雑誌、ダンボール、アルミ缶などを回収して業者のトラックへ積み込む作業に一生懸命。汗を流しながら約16トン運んだ。

